

特別セミナーのご案内

【日時】令和5年7月24日(月) 13時30分～16時35分

【会場】鉄鋼会館 8F「811」(東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10)

選べる! 「会場参加」
or 「ライブ配信」

職場でも、自宅でも
インターネット環境があれば
どこからでもご参加いただけます



第1部

13:35～
14:45

演題: HACCP 制度化の現状と課題

講師: 高橋 亨 室長補佐 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 HACCP 推進室)

令和3年6月から、HACCP に沿った衛生管理が義務化となり、原則全ての食品等事業者は、衛生管理計画を作成し、それに沿って衛生管理を実施し、記録を残すこととなりました。制度定着のため、厚生労働省では食品等事業者団体が作成した手引書の内容確認、地方公共団体においては、手引書等を用いた指導・助言等を行っています。HACCP に沿った衛生管理の制度化の現状と課題について紹介します。



第2部

14:55～
16:05

演題: 食品ロス・リサイクルの現状と農林水産省における取組について

講師: 月岡 直明 課長補佐 (農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課)

農林水産省では食品事業者から発生する食品ロスの削減に取り組んでおり、2030年度までの事業系食品ロス半減目標の達成に向け、商慣習の見直しやフードバンク活動の推進等の取組を行っています。また、発生抑制の取組をしてもなお、発生した食品廃棄物については、リサイクルを推進しています。今回は、近年の食品ロス及びリサイクルの現状をご説明するとともに、食品ロス削減及びリサイクル推進施策やフードバンクの活動支援策についてご紹介します。



第3部

16:05～
16:35

演題: 食品表示制度にかかるこれまでの取り組みと今後

講師: 清水 正雄 課長 (消費者庁 食品表示企画課)

2009年に消費者庁が設立した当時、JAS法、食品衛生法、栄養改善法の中で表示方法が定められていたことを一元化する食品表示法の制定が最も重要課題でした。その後も加工食品の原料原産地表示の施行、遺伝子組換え表示基準の改正などの改正を行い時代に合った表示制度を目指した改正を行ってきたところです。今日は、これまでの表示の変遷に触れながら、ネット環境も整った現在における今後の食品表示の方向性についてお話しします。



注 状況により演題及び講師等の変更がありますことをご了承ください。

主催 一般社団法人 日本農林規格協会 (JAS協会)